

特集

九州最大級の SAGAアリーナで スポーツ観戦を楽しもう！



2階席かどからの視点

をチエックできるのはもちろん、大型ビジョンの映像も申し分なく見ることが出来ます。また、南側の2カ所のかどにある「ゆつくりできマス席」は4、8、10人席がそれぞれあって、靴を脱いでゆつくりと足を伸ばしたり寝そべったりして観戦できるシートです。1、2階に比べてお手ごろ価格でコスバは抜群です。

すべての座席にドリンクホルダーが設置されているのも SAGAアリーナの特長のひとつだそう。入場時の音響や映像、照明による演出は圧巻でタイムアウト時やハーフタイム中にある「BAL-VENUS」によるパフォーマンスはどの席に座っていても楽しむことができます。佐賀バルナーズの担当者は「観戦する座席によっ

て雰囲気はそれぞれ違うので楽しめます。まずはリーズナブルな4階席で全体の空気感を味わって、2階席で観戦してもらうのがおすすめです」と話してくれました。さらに、対戦相手や試合開催日によって価格帯が変動することによって、選手との距離が近い席を手頃な価格で購入することもテクニクのひとつです。

「SAGAアリーナに入ったことがない人やまだ佐賀バルナーズの試合を見たことがない人に、バスケットボールの熱を肌で感じてもらいたいので、そして、県全体が「佐賀バルナーズ」を知っているという雰囲気を作っているんです」と意気込んでいます。九州最大級のアリーナで、最高のスポーツ体験をしてみませんか。



「BAL-VENUS」のパフォーマンス

プロチームに声援 最高の体験を



4階席からの視点

10月に入り、佐賀県内では国内最高峰リーグで活躍するプロチームの熱い戦いが幕を開けました。「観戦したいけど、どこの席から見ればいいのか」「SAGAアリーナではどんな食事が楽しめるの？」など。「スポーツの秋」を見て楽しめるように、佐賀バルナーズの試合が行われているSAGAアリーナに潜入してきました。

パークテラスにはキッチンカーが並び、選手の垂れ幕などが下がっている

十分に伝わってきて、シュートが決まった時などは隣の人達と一緒に盛り上がることが出来ます。アリーナ席から少し階段を登ると2階席で、アリーナ席に比べて傾斜と高さがあります。2階席の最上部までくると、天井から吊り下げられている大型ビジョンがほぼ目線の高さにあるので、コート上を見るのもよし、大画面でプレーを確認するのもよしです。何と言っても、飲食のブースは2階に集中しているため、買い物にも行きやすいことが利点です。最大勾配35度のすり鉢状でできているSAGAアリーナの4階席は会場全体を俯瞰して見渡すことができます。試合をしている選手たちの動き

十分には伝わってきて、シュートが決まった時などは隣の人達と一緒に盛り上がることが出来ます。アリーナ席から少し階段を登ると2階席で、アリーナ席に比べて傾斜と高さがあります。2階席の最上部までくると、天井から吊り下げられている大型ビジョンがほぼ目線の高さにあるので、コート上を見るのもよし、大画面でプレーを確認するのもよしです。何と言っても、飲食のブースは2階に集中しているため、買い物にも行きやすいことが利点です。最大勾配35度のすり鉢状でできているSAGAアリーナの4階席は会場全体を俯瞰して見渡すことができます。試合をしている選手たちの動き

佐賀市日の出にそびえるSAGAアリーナ。男子プロバスケットボールBリーグ1部（B1）所属の佐賀バルナーズや大同生命SVリーグ女子のSAGA久光スプリングスのホームアリーナで、両チームの試合の日には多くの人がひしめき合っています。

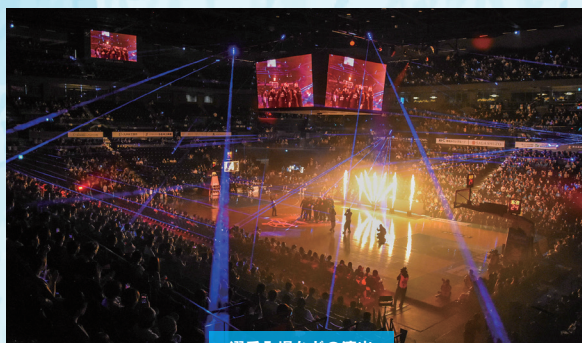
JR佐賀駅北口を出てサンライズストリート（市道三溝線）を直進していくと、右手に佐賀バルナーズやSAGA久光の選手たちのサインが描かれた大きな絵馬が奉納されている「鋼流神社」があります。チームを応援する人々にとっては、ひとつの「聖地」でもありますね。さらに歩を進めていくとSAGAアリーナが現れます。

試合が行われる日は、パークテラスに多くのキッチンカーが並び、選手たちの垂れ幕やのぼり旗が掲示され、「推し」と記念写真に収まる人たちの姿も多々見られます。早速、2階正面から入っていくと、目の前に自然光を多く取り入れるメインエントランスが広がります。コンコースの「アリーナフードストリート」ではさまざまな食事や飲み物が販売され、観戦のお供を手に入れたら、いざメインアリーナ内に入りましょう。

座席からはどのように試合が見えるのでしょうか。1階席はコート周辺とアリーナ部分に分かれています。両チームのベンチ横にある「プレミアムシート」は、今季から10席ずつ拡充されました。ヘッドコーチの指示やタイムアウト時の選手たちの息づかいなどを間近で感じられます。コートエンド席はゴール下での激しいリバウンド争い、ベンチ向かい側のコートサイド席ではライン際での激しい攻防など迫力満点のプレーを見ることが出来ます。試合前の選手入場のときにはどの席よりも近くで見られるという点です。1階アリーナ席はコート周辺に比べて少し距離はあるものの、コート上の熱気は

試合が行われる日は、パークテラスに多くのキッチンカーが並び、選手たちの垂れ幕やのぼり旗が掲示され、「推し」と記念写真に収まる人たちの姿も多々見られます。早速、2階正面から入っていくと、目の前に自然光を多く取り入れるメインエントランスが広がります。コンコースの「アリーナフードストリート」ではさまざまな食事や飲み物が販売され、観戦のお供を手に入れたら、いざメインアリーナ内に入りましょう。

座席からはどのように試合が見えるのでしょうか。1階席はコート周辺とアリーナ部分に分かれています。両チームのベンチ横にある「プレミアムシート」は、今季から10席ずつ拡充されました。ヘッドコーチの指示やタイムアウト時の選手たちの息づかいなどを間近で感じられます。コートエンド席はゴール下での激しいリバウンド争い、ベンチ向かい側のコートサイド席ではライン際での激しい攻防など迫力満点のプレーを見ることが出来ます。試合前の選手入場のときにはどの席よりも近くで見られるという点です。1階アリーナ席はコート周辺に比べて少し距離はあるものの、コート上の熱気は



選手入場などの演出



アリーナ席（1階）からの視点



激しいプレーを展開する選手たち



コートエンド席からの視点

UA BALLOONERS Tシャツ BLACK

4,400円

シンプルでスタイリッシュ。会場でも街でも着られる、万能な1枚です。（担当：NANAKO）



バルたんカチューシャ

2,200円

バルたんカチューシャをつけるだけで、応援モード全開！お子さまから大人まで楽しめる、笑顔あふれる人気アイテムです。（担当：MINORI）



レプリカユニフォーム

13,200円

選手と同じデザインのユニフォームを着て、一緒に戦う気持ちで応援しましょう！SAGAアリーナがバルナーズブルーで染まる瞬間、選手たちの力もさらにみなぎります！（担当：Himeka）



グッズ身につけて選手を後押し

SAGAアリーナでの楽しみ方は試合を見て応援するだけではありません。大好きな「推し」の名前が書かれたタオルを掲げて、その選手と目が合うなんてことがあるかも。タオルのほかにも、メガホンや演出連動ペンライト、キーホルダーなど多数のグッズが目白押しの売り場は、試合当日には多くの人でにぎわっています。そんなグッズの中で、イチオシのグッズを佐賀バルナーズオフィシャルパフォーマンスチーム「BAL-VENUS」に紹介してもらいます。

※価格はすべて税込みです。



「BAL-VENUS」が紹介してくれた商品以外にも、売り場には多くのグッズがそろっていますので、お目当ての商品をゲットしてください！！



JIGGY STEAK

ジギーステーキ

New!!



福岡市中央区大名でボリューム感満点のステーキサンドをメインに取り扱っているサンドイッチ店。フライドオニオンなどをブレンドした酸味と甘味があふれるオリジナルソースは病みつきになること間違いなし!!国産和牛のさかりを使った「ステーキサンド」は 100 グラム近く入ってシングル (S) 800 円、ダブル (D) 1500 円。たまごサンド (S: 350 円、D: 600 円)、生ハムアボカドサンド (S: 400 円、D: 700 円) など扱っています。



TOMMY BEEF

トミービーフ



年間 5000 枚以上売れている「ロールピフカツ」(700 円)は薄切りの牛肉を重ねて作ったステーキを丸々1枚揚げています。自慢のローストビーフをふんだんに使った「ローストビーフサンド」(1000 円)に加え、佐賀バルナーズ戦限定の「ビーフサンドバーガー」(1000 円)もジューシーな食べごたえに満足すること間違いなし。九州駅弁グランプリで特別審査員賞に輝いた「さかのべんとう」(1200 円)や Instagram など完全予約制の「ローストビーフ丼」(2500 円)にも注目したいです。



HOT DOG Pica Pica

ホットドッグ ピカピカ



鳥栖市のパン屋でホットドッグ専用として開発されたパンズはふわふわ生地が特徴。チリチーズドッグ (1000 円) が一押しで、金星佐賀豚が使われているチリソースは、子どもでも食べられる味わいになっています。注文を受けて、パンズを蒸し上げてソーセージを挟み、ソースなどをかけるので出来立てを楽しむことができます。チリソースがかったナチョス (600 円) も人気で、ホットドッグに 500 円を追加すれば、両方をお得に味わえます。



GAME BREW

ゲームブリュー



吉野ヶ里町で味と品質を追求して醸造しているこだわりのクラフトビールを味わうことができます。おすすめは佐賀バルナーズとコラボした「FAST BREAK」(800 円)。バスケット用語の「ファストブレイク (速攻)」から名付けられたということです。マスカットのようなフルーティーな香りで爽やかな飲み口が特徴で、まさに選手たちがコート上で速攻を仕掛けるときの疾走感を味わえそうです。試合終了後にはバルたんが描かれた缶 (830 円) での購入もできます。



【記事：小部亮介 デザイン：蒲原貴子】



Arbre

アルブル

New!!

佐賀市呉服元町に店舗を構える「Arbre」は、「『美味しいもの』『良いもの』をカジュアルに楽しめる」をコンセプトに、今シーズンから佐賀バルナーズを「食」で後押ししています。鯖寿司の酢飯をルーロー飯風にアレンジした「鯖ルーナー寿司」(800 円)は商品名の中にチーム名を組み込む工夫もしています。昔懐かしの赤いウインナー「たこさんウインナー」(600 円)は観戦中に手軽に楽しめるように串に刺さっています。食べ物に加え、お酒も店舗と変わらないアルブルクオリティの商品を提供しています。



常設11店舗の おすすめを紹介

熱気あふれるプレーを繰り広げる選手に向けて、大きな声援を送ると喉が乾き、お腹が減ってくることでしょう。「腹が減っては戦はできぬ」という言葉の通り、選手を後押しする応援に飲食は必要不可欠です!! SAGA アリーナの試合観戦時にはどんなグルメがあるのか。佐賀バルナーズの試合では今季から新たに加わった4店舗を含めて、アリーナ内に11店舗が常設されています。その店舗を一つずつ巡り、おすすめの商品を開いてきました。

アリーナグルメで空腹を満たしのどを潤わせて応援だ!!

Hungry bowl



ハングリーボウル

佐賀市と小城市で、お米に合う最高のおかずを提供している「Hungry bowl」。一番の人気は何と言っても豊富な種類のお弁当 (1000～1500 円)。「スペシャルハンバーグ弁当」や「唐揚げ弁当」、「チキン南蛮弁当」を中心に、対戦チームのご当地メニューがあることも!!リピーターが多く、「常に新しいものを」と進化を続けています。今季は佐賀バルナーズのチームカラーを施した佐賀豚シュウマイ (6個入、800 円) も出しています。



バルナーズダイナー&カフェバルニスタ



「バルナーズダイナー」は2階エントランスから入って正面右の青い電光掲示板が目印。一押しはチキンオーパライス (800 円) で、ターメリックライスにほぐした鶏肉と野菜が乗り、ヨーグルトソースと辛めのソースが絶妙な味わいを生み出します。ハニーマスタードシュリンプ (800 円) はぷりぷり食感のエビに甘くて酸っぱいソースが絡み、お酒のおつまみにもピッタリ!さがびよりを使った「バルたんおにぎり」も空腹を満たしてくれます。「カフェバルニスタ」ではココロールのロールケーキなどを提供しています。



KASE_ANNE

カセアン

New!!



佐賀市嘉瀬にあるレトロな癒やしの空間「KASE_ANNE」が今季から出店。地産地消を掲げ、すべての商品を真心込めて手作りしています。おすすめは、佐賀市のご当地グルメ「シシリアンライス」と沖縄県の料理「タコライス」を組み合わせた「タコリアン」(1300 円)。シフォンケーキ「ふわんこ」(800 円) などスイーツも豊富で、メレンゲクッキーで作った「バルばな」(1000 円)は SNS 映えすること間違いありません!



SAGA BAR

サガバー

New!!



「佐賀を味わう。」をコンセプトに県産品を気軽に体感することができます。佐賀県内の酒蔵の日本酒を中心に佐賀の魅力を発信しています。人気商品は佐賀県民のソウルフード「お魚ミンチ天」(500 円)。佐賀の食材を使った日本酒に合うおつまみ3種類盛り合わせは 1200 円で、日本酒 (一部を除く) をつけたセットだと 1500 円でかなりお得です! 毎試合、10種類程度の日本酒がそろい、さまざまな味を楽しめます。



deer

ディーア



看板商品は「イノシシバーガー」(800 円)。臭みのない佐賀県産のイノシシ肉の粗挽きパティは肉々しく、手作りの濃厚なバーベキューソースとタルタルソースとの相性もバッチリで、リピート率が高い商品です。隠れた人気を誇っているのが「羊羹バタークロワッサン」(500 円) です。クロワッサンに小城羊羹とバターを挟み込み、上品な甘さと塩味の程よいバランスが虜になります。小腹がすいたときにおすすめです。



BALTAN KITCHEN & シェフ・バルたん



2階正面から入場して左手のピンク色の看板が目印の「BALTAN KITCHEN」の定番商品は「バルたん焼き」(400 円)。ベーコンエッグやカスタードが入った回転焼きにマスコットキャラクター「バルたん」の焼印が押されています。この他にも「しゃかしやかももちもちポテト」(600 円)や「バルチキ」(5個・600 円、10個・1000 円)や、長さ 50 センチの「ロングチーズナンカレードッグ」(1200 円)など豊富なメニューを取りそろえています。チームカラーの「りんご飴」(800 円)は「シェフ・バルたん」でも購入できます。



売茶翁なくして若冲なし 売茶翁生誕350周年特別展



茶旗「清風」花月庵蔵 後期展示



注子 花月庵蔵 後期展示



花鳥版画「鸚鵡図」平木浮世絵財団蔵 後期展示



伊藤若冲筆「白象図」個人蔵 通期展示



伊藤若冲筆「海棠白図」泉屋博古館蔵 後期展示

「売茶翁なくして若冲なし」。佐賀藩の支藩・蓮池藩で生まれ、煎茶を世に広めたとされる売茶翁（1675年～1763年）の生誕350周年を記念した展覧会が佐賀県立美術館で開かれています。同じ時代を生きて深い親交があった画家・伊藤若冲（1716年～1800年）の作品などを中心に約130点が並んでいます。



2人の関係ひもとく作品 深い関係性を感じとって

江戸時代を生きた売茶翁と若冲とはどんな人物だったのでしょうか。売茶翁は1675年に蓮池藩の藩医の四男として生まれ、12歳で出家しました。その後は日本各地で修行に励み、61歳のときに京都で「通仙亭」という茶店を構え、茶を売りながら禅や人の生き方を説いたとされています。そんな売茶翁のもとには多くの文人たちが集まったとされ、後の時代に「奇想の画家」と呼ばれた若冲の姿もその中であつたとされています。

京都・錦市場の青物問屋の長男として生まれた若冲。代表作として知られているのは国宝に指定されている「動植綵絵」で、鮮やかな色彩と緻密な書きぶりで見る人々を虜にしています。鶴や牡丹など従来の花鳥図で好まれたものだけではなく、昆虫や南国の鳥など多種多様な動植物を描き出しています。今回の展覧会では「動植綵絵」の複製品30幅が一挙に公開され、写真撮影も可能です。

見どころは「動植綵絵」だけではなく、ありません。花鳥図の製作を中心としていた若冲が描いた売茶翁の肖像画が多く展示されていることです。会場では売茶翁が若冲の画技を絶賛していたとされる一行書「丹青活手妙通神（あなたの絵画表現は神に通じている）」もあり、若冲はこの七字を印鑑に刻んで動植綵絵の3幅に押しています。肖像画の存在は、若冲が長年慕った格別の人物であることを物語っているのでしょうか。また、売茶翁が京都で振る舞ったお茶が嬉野茶だったという説を裏付ける売茶翁直筆の書も展示されています。

展覧会は11月24日まで開かれていて、10月28日からは一部作品の展示替えが行われます。観覧料は一般が1500円、高校生以下は無料です。売茶翁の生まれ故郷・佐賀の地に、近年では九州最大規模の若冲の作品が集結しています。佐賀から全国に煎茶を浸透させた文化人と、その文化人を尊敬し続けた1人の画家の深い関係性を作品から感じとってみてください。

「売茶翁と若冲展」が開かれている佐賀県立美術館から約2キロ離れた場所にある「肥前通仙亭」は、今回の展覧会のサテライト会場としてオープンしています。肥前通仙亭は煎茶の中興の祖・売茶翁の情報発信を行う施設として2010年6月にオープンしました。

展覧会の会期中は、NPO 法人高遊外売茶翁顕彰会が所蔵する重要な真筆の軸や関連する資料が展示されています。さらに、売茶翁を偲ぶ佐賀の茶文化を体験できる喫茶コーナーでは、有田焼の茶器に入れた煎茶を、京都と佐賀の銘菓と一緒に楽しむことができます。期間限定のメニューは800円で提供されていて、展覧会のチケットまたは半券の持参で100円引きになるということです。11月9日には、「売茶翁の生涯」を日本



サテライト会場の肥前通仙亭



売茶翁の顕彰碑

語で出版した売茶翁研究家のノーマン・ワデル氏の講演会（参加料は無料）が予定されています。旧古賀銀行など肥前通仙亭周辺でもさまざまなイベントが行われ、チケットを持っておくとお得なことがあるかもしれません。

売茶翁が僧として過ごした「龍津寺」は佐賀市巨勢町にあります。ゆかりの地には顕彰碑が建てられています。少し入り組んだ土地で見つけにくいかもしれませんが、この機会に、売茶翁が仏道修行した地に足を運んでみるのもいいかもしれません。

サテライト会場は9時～17時までの会館で入館料は無料。休館日は月曜日です（月曜が祝日の場合は翌火曜日が休館）。問い合わせは0952（65）2152まで。